



全方位カメラを活用した農道台帳管理の活用事例について紹介します。

(1/2)

今回紹介する団体： 水土里ネット福岡

取組概要

内容： 農道台帳の適正な維持管理に資するため、従来のGIS整備に加え、全方位カメラを活用し、撮影した農道の写真・位置情報を水土里情報システムで管理できる仕組みを構築。

経緯：

- ①平成25年までは、住民からの問い合わせ及び農道周辺状況等の確認において、市役所等では平面的(2次元)でしか情報が得られないため状況の確認できず、遠方地であっても現地確認を行っていた。
- ②同年に、水土里ネット福岡でストリートビュー(Google)のように路線・周辺状況を確認できるような仕組みができないか、検討を行った。
- ③平成26年に水土里ネット福岡の独自予算で、低コストで整備、更新を行えるよう、機器及びシステム改修を行い、モデル的に農道情報の整備を実施中。



全方位カメラ機器

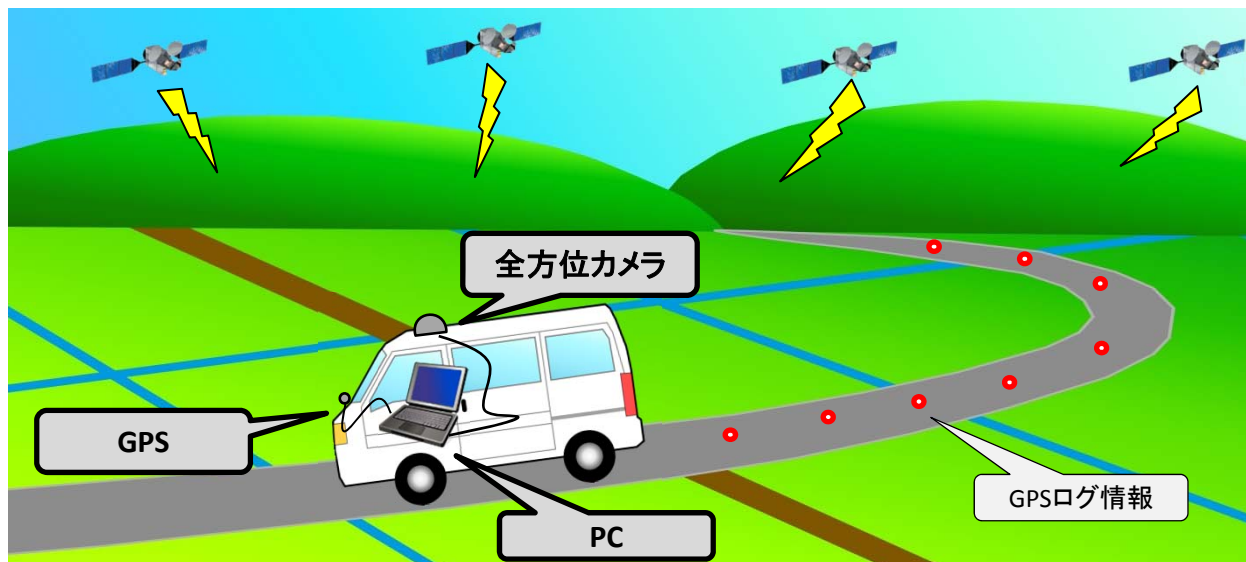
【必要な機器】

- ①全方位カメラ
- ②ノートパソコン
- ③GPS

撮影は2人体制



カメラ設置状況



作業イメージ

期待される効果

- ①GISで整備した農道台帳の管理情報等の確認のほか、対象箇所を3次元方向で路線及び周辺状況の確認が可能のため、災害時の状況把握及び住民からの問合せ対応においても有効であり、現地確認作業が軽減できる。
- ②簡易な装備で撮影(写真・位置情報)が可能であることから、データの更新が容易である。
- ③水土里情報システム(WEB)にビューアソフト、データ取り込みツールを標準装備しているので、利用団体間での情報共有も可能である。
(データ容量が大きい場合等は、ローカルデータからの取り込みも可能)



水土里情報システム画面

今後の活用予定

市町村の農道台帳の適正かつ計画的な維持管理に資するため、水土里情報システムの活用及び推進を図る。

また、災害時では、農道の被災前と被災後の写真比較が可能なので、原形がどうであったか等の確認作業としても活用できる。

■お問い合わせ先

福岡県土地改良事業団体連合会 総務部情報管理課(田村、長部) 092-642-1893(直通)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、溝添) 03-6744-2212(直通)